

第20回鈴鹿市文芸賞受賞者が決まりました

(財) 鈴鹿市文化振興事業団 ☎384-7000 📠384-7755 ✉since-97@s-bunka.net

応募作品の中から下記の方が受賞しましたのでご紹介します。

◆一般の部

(敬称略、同賞内順不同)

	ジャンル	氏名	作品名		小説	小津順吉	シャトルコックは宿酔い
最優秀賞	小説	奥田かなえ	骨	奨励賞	小説	奈良光男	誰がために
	エッセイ	平 英男	東京へ		エッセイ	奥村卓哉	煙管と長火鉢
	詩	村山砂由美	追懐		詩	服部雅恵	Meu mar, quero te amar -私の海よ、あなたを愛したい-
	短歌	戸谷重子	病む晩夏光		詩	田中静雄	大宰府に詣で菅公を詠ず
	俳句	堀 喬	原爆忌		短歌	小河香織	拍手
	川柳	北田のりこ	私のポーズ		短歌	栗山恵美	秋色
優秀賞	小説	定金千佳	私達、 鈴鹿へ引越しました		短歌	石田加代子	あなた、ありがとう
	エッセイ	長岡裕子	生母の貌		俳句	岩間 務	伊勢の海
	詩	堀川孝子	めど とおしてんか		俳句	豊田忠兆	鷺
	短歌	児玉亮子	君		俳句	岩佐紀代子	秋の薔薇
	俳句	高井幸子	小鳥来る		川柳	岡田 幾	佳き日の厨
	川柳	小出順子	今		川柳	岡田悟郎	どんでん返し
					川柳	落合文彦	Uターン

◆ジュニアの部

(敬称略、同賞内順不同)

	ジャンル	氏名	作品名		短歌	角谷菜月	4日間被災地の子を受け入れて 直接聞いた津波の恐さ
最優秀賞	作文・童話	川居静花	木下中学校 宅配部	奨励賞	短歌	小林英人	黄味おびて稲穂もおもくなり始め もうすぐ夏も終りをつける
	詩	大山尚輝	飛行機のひみつ		短歌	下斗米翔太	大津波流されたものは多いけど 流されないであなたの心
	短歌	松山愛梨	友達とケンカをしたら涙目 にお空を見れば海ができてる		短歌	吉田かれん	ありがとうふとしたときにかんじるよ 言葉ではないたしかな思い
優秀賞	俳句・川柳	森葛花	ひまわりにくるとみせたさかがり		短歌	西山京佑	月あかり照らす背中に虫の声 これで最後の線香花火
	作文・童話	小村彩花	のバラのクラス		短歌	川島翔輝	ぱったはねびよんぴよんとがふみどりいろ えものつかまえむしゃむしゃたべる
	詩	中野芙美	だんご虫		短歌	田中美有	秋の空夕方になるとまっかつか なんだかとてもてれてるみたい
奨励賞	短歌	伊達翔平	ありがとう短いけれどあたたかい 気持ちを変える言葉の力		短歌	大塚萌音	おちばがね風にふかれてとんでった ズリズリとどこかへいった
	俳句・川柳	森桜花	どんぐりがへんしんしたよ にんぎょうに		俳句・川柳	吉岡慶人	ひやひやとスイカが思うスイカ割り
	作文・童話	中野文菜	日記抄		俳句・川柳	村瀬菜摘	バスケット汗だくになりゴール決め
	短歌	西田郁香	打ち水の冷たさ甲に感じつつ 遠く東の笑顔を祈る		俳句・川柳	小林謙太	もみ焼きの香りがかすむ秋の里
	短歌	野村莉茉	せんぷうき前にすわってわれわれは うちゅう人だ風にのせてね		俳句・川柳	山本瑛心	あまがえるふくをきかえてどこへいく
	短歌	鈴木龍一	見あげるとゆうやけとんぼあかくなる ほくのこころにしみこんでいく		俳句・川柳	伊藤優羅々	おいもほりかおよりでかいおいもだぞ
	短歌	渥美真奈	夏の日風鈴の音聞きながら 涼しい風を受ける幸せ		俳句・川柳	井ノ本 響	山歩きほくのぼうしに赤とんぼ
	短歌	尾鼻沙恵	そらの色とてもきれいな色だから 今すぐにでも君にみせたい		俳句・川柳	川端健太	いやがってからからでないかたつむり
	短歌	田中ゆかり	夏休み日に日に伸びるひまわりと 日に日に伸びる私の心	俳句・川柳	長谷部智也	くさむらでねらいをつけてバツとり	
短歌	羽山 廣	大会後どしゃぶりの雨ざあざあ いろんな涙がたまっているね	俳句・川柳	福山瑞歩	雪だるま手足つけたら動きだす		
				俳句・川柳	石原恵多	ひつつましこの服いいとわめいてる	
				俳句・川柳	今西里奈	がんばれと運動会のふえがなる	

◆第20回鈴鹿市文芸賞贈呈式

と き 3月10日(土) 10時から ところ 文化会館 さつきプラザ

◆第20回鈴鹿市文芸賞作品集

受賞作品の一部と選評を、文芸誌「市民文化」に掲載します。3月10日(土)から1部100円で販売しますので、ご希望の方は、直接、(財)鈴鹿市文化振興事業団事務局(文化会館内)へお越しください。